



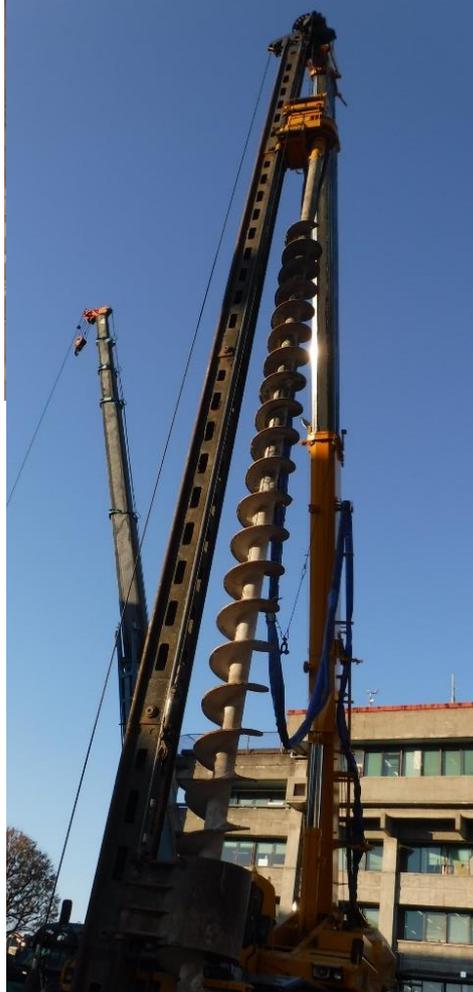
山留工事が進行しています

地上部分の解体工事をほぼ終え、山留工事に着手しました。今後、地表より約17mの深さまで掘削作業を行います。引き続き、安全第一で工事を進めます。

ドリルを取り付けた重機にて掘削後、長さ約20mのH型鉄骨を地面に打ち込みます。



山留工事とは、掘削作業を行う際、周辺地盤への影響を防ぐ為の土留工作物（H型の鉄骨等）を設置する工事です。

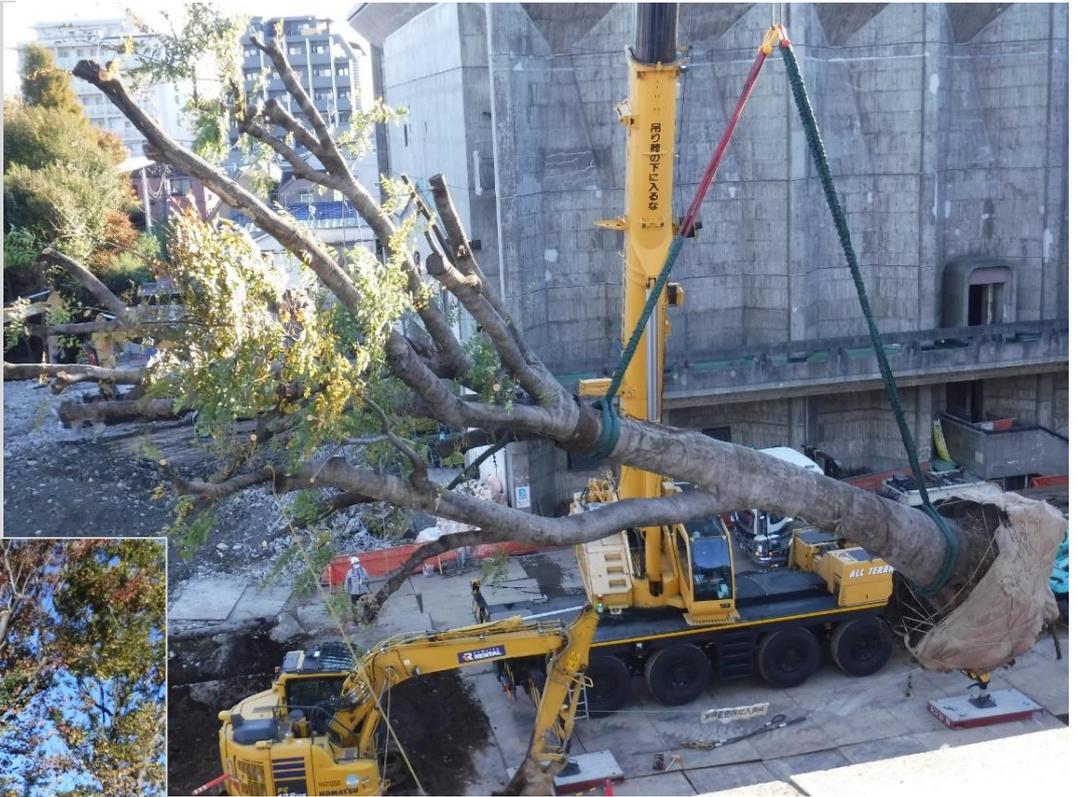


2021年12月
世田谷区
庁舎整備担当部
庁舎建設担当課

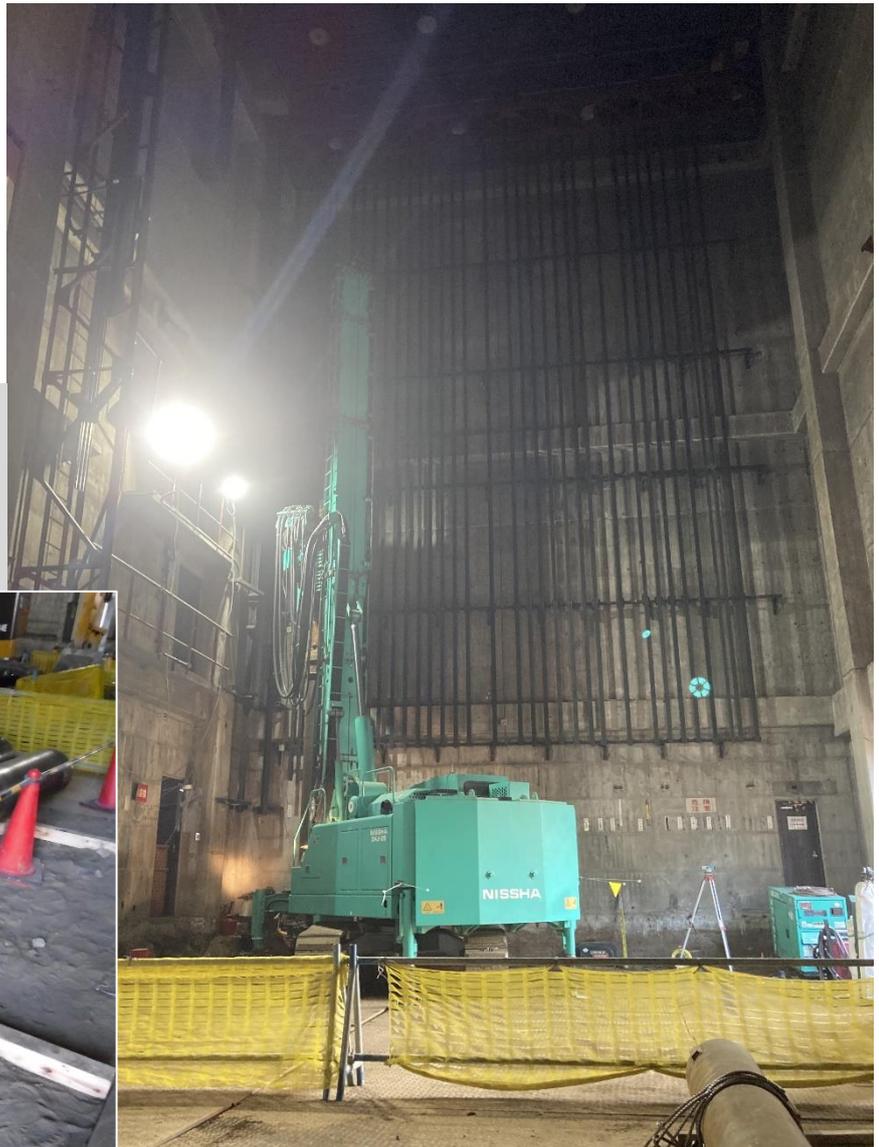
東棟

中庭では、集会室の解体工事がほぼ終わり、一年以上前から準備を進めてきたケヤキの移植を行いました。根鉢を含めて総重量16トンにもなるため、100トンクレーンを使用し、ケヤキを吊り上げました。（写真右）

この後、低床トレーラーに乗せ、現場内への移植が完了しました。（写真下）



区民会館ホール内は、舞台部分の解体工事が終わり、新たな舞台装置を設置するための構造体を構築するため、杭工事を開始しました。（写真右）



西棟



西敷地では、オイルタンクを納める地下躯体の構築後に、直径3.2m、全長8.5mのオイルタンク本体の設置を行いました。（写真上・右）

1期工事完成後（令和5年7月末を予定）は、このオイルタンクより非常用発電機に燃料が送られ、災害等による停電が発生した場合でも7日間は非常用発電機が稼働し、本庁舎機能を維持します。

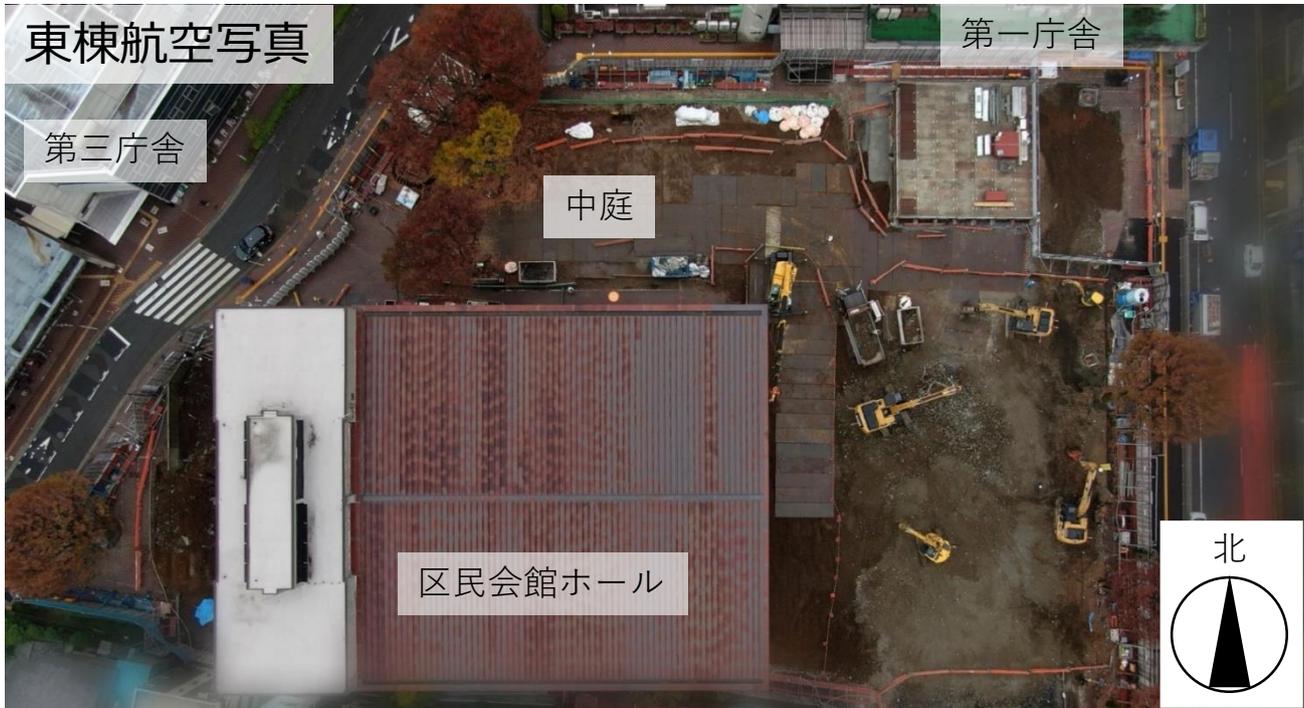


1期工事中は、仮設の非常用発電機を設置します。工事期間中に震災等が発生した場合でも、仮設の非常用発電機が稼働し、本庁舎の災害対策機能は確保されます。

（写真上：工事中の仮設非常用発電機室）

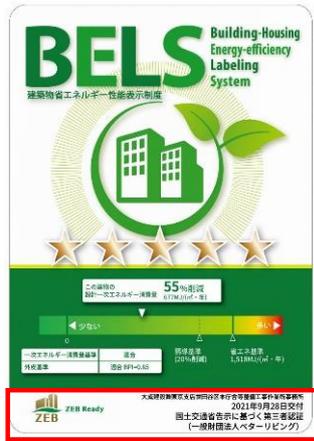
第三庁舎プレハブ棟の解体工事が進んでいます。屋根と内装・外装は極力、手作業で解体し、その後、鉄骨や基礎を重機で解体します。年内を目途に解体工事を行い、令和4年1月からは山留工事へと移行していきます。（写真下）





世田谷区の本庁舎等整備では、積極的に自然エネルギーを活用するとともに、高効率な省エネルギー設備等を導入することで、標準建物と比較し、一次エネルギー消費量を40%以上削減するZEB Orientedを達成しました。 ※認証は今後、取得予定

本庁舎等整備工事の現場事務所では、高効率な空調システムやLED照明などを導入することで、エネルギー消費量を55%削減し、このたび、ZEB Ready認証を取得しました。（写真右）
 今後、工事で使用する重機についても、二酸化炭素排出量を削減可能なハイブリット型の導入を予定しており、引き続き、地球温暖化対策や脱炭素につながる取組みに、努めてまいります。



作成 世田谷区庁舎整備担当部庁舎建設担当課
 〒154-8504 東京都世田谷区世田谷四丁目2 1番2 7号
 電話：03-5432-2986 FAX：03-5432-3006
 協力 大成建設株式会社東京支店